

太田 信介

農林水産省農村振興局長

エコツーリズムに対する思い、意見等

農林水産省では、「緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」いわゆるグリーン・ツーリズムを積極的に推進しているところです。

具体的には、農山漁村地域をフィールドとして、

茅葺き家屋等の伝統的な地域資源を活用した都市農村交流施設や農林漁業体験民宿への宿泊

クラインガルテン（ログハウス等を附設した滞在型市民農園）での滞在田植え、稲刈りなどの農業体験、そば打ちなどの食の体験、植林や間伐などの林業体験、定置網揚げなどの漁業体験、自然の中での森林浴トレッキング等の各種体験活動

夏休み等を利用した子ども達の長期の農林漁業・農山漁村体験活動

ふるさとまつり等の地域伝統文化行事への参加、直売所、棚田オーナー制度等による交流

等の多様な展開が図られております。

さらに、都市と農山漁村を行き交うライフスタイルの実現を目指し、政府の関係7省が連携し「都市と農山漁村の共生・対流の推進」に取り組んでいるところです。

こうした中、環境意識の醸成や環境保全活動の一層の推進は政府として重要な取り組みと考えており、当省としても、エコツーリズムとの連携を十分取りつつ、農山漁村等を舞台とした幅広い取り組みを推進することが大切と考えております。